

せと 市議会だより

Seto City Council

令和2年
9月定例会



かつての水野駅(昭和40年頃、名鉄資料館より提供)

瀬戸市の
いまむかし
水野駅
名鉄瀬戸線



現在の水野駅(令和2年9月撮影)

特集 ▶ P2~3 令和元年度決算を徹底審査

注目 ▶ P11 議会改革度ランキング全国17位

令和元年度決算を徹底審査

9月定例会の予算決算委員会で行われる決算審査は、前年度にみなさんの税金がどのように使われたか、無駄は無かったか、効果はどうであったか、などを審査し、翌年度の予算編成に反映させる重要なものです。議員全員で慎重に審査した結果、すべての決算について認定しました。

決算審査の流れ

①各分科会で所管課の決算について準備会を行う

選定事業の抽出をし、議員間で意見交換をし、個人や会派で調査研究を行う

②予算決算委員会の各分科会で審査(質疑・意見交換等)

準備会を経て抽出された論点に基づき、重層的な質疑を行うことで、活発な討議に繋げる

③予算決算委員会全体会で審査(分科会長報告・討議・採決等)

④本会議で委員長報告・討論・採決

予算決算委員会(分科会)での審査内容

Q : 市議の質問 A : 市の回答

総務生活分科会

ふるさと納税の使いみちについて

Q 寄附金の使いみちとして「オオサンショウウオ保護普及事業」で目標額を達成し、人道橋を設置したが、その他で目標を達成した事業はあったか。

A 昨年中における寄附金は1,383万円余であった。ふるさと応援基金で指定してもらった事業のうち、「保育園に遊具・玩具などを設置する事業」と「ものづくりロボットキャンプ事業」において目標を上回る寄附があったので、それらの事業の実施を検討しているところである。

女性の社会参画について

Q 市の審議会、協議会における女性の参画率は24.1%で全国平均の28.4%よりも低い。今後どう対応されるか。

A 少ない理由は、各団体の構成員のうち女性の比率が低いことによる。各団体の長に女性の登用を進めていただくよう依頼していく。

ごみの減量化について

Q 市はミックスペーパー(雑紙)を資源化することで、ごみ減量化を図るとしているが、具体的に何を取り組んだのか。

A 市内で説明会やアンケートを実施し、ミックスペーパーの分別についての啓発を行った。

防災訓練について

Q 令和元年から防災訓練が各地域で実施されるように変わったが、訓練の成果や課題をどのように把握しているか。

A 総ぐるみ防災訓練については、より実践的な訓練に転換したことで、自助と共助の重要性に対する理解が深まった。訓練報告検証会を行い、「安否札」や「防災マップ」の効果の確認や、要配慮者支援の課題が共有された。



昨年の総ぐるみ防災訓練の様子

敬老会について

- Q** 敬老会の出席率は、低水準であり、今後の式典のあり方を考える必要があるが、どのように受け止めているか。
- A** 対象者の増加と、運営する方の高齢化があり、費用対効果も含め敬老会のあり方を地区社協の方達と考える時期にきている。今後は関係各位と検討を進めていきたい。

子育て総合支援センターの今後について

- Q** 今後、子ども・若者総合支援拠点づくりを推進するにあたり、体制の構築と人員の強化はどのようにしていくのか。
- A** 相談件数が増加している中、法改正で相談・支援業務が県から市の業務へ移行し、市の責任が増加することになった。介入・支援に抵抗のある保護者に関わる必要があり、専門性や経験が要求されるもので、今後、拠点の整備を考える中で体制強化を考えていく必要がある。

一般不妊治療費等の助成について

- Q** 今年度は58組に対して助成を行い、不用額が発生していないが、希望に添えず助成を行えなかったことはないか。
- A** 令和元年度の一般不妊治療費等助成金については、必要な助成を行うため、一部予算を他の事業費から流用して対応した。今後も申し込みに応じて、必要な助成が行えるよう適切に対応していく。

小中一貫校整備について

- Q** 市全体としての適正規模適正配置を進めるための小中一貫校整備はこれで完了ということか。他校は長寿命化工事、大規模改修工事を進めているなか、本市の適正規模適正配置はどのように進めていく予定か。
- A** 市全域、地域の街づくり計画、人口動向、校舎の状況などをみながらハード、ソフト両面の視点を含めたうえで、文部科学省が示している手引きを踏まえ考えていきたい。

企業誘致推進について

- Q** 市内に大きな企業の誘致が決まり、今後人口増や雇用の拡大、法人税など税収増になると思うが、引き続き市としても支援をしていく必要があるのではないか。
- A** 昨年度と今年度で大規模企業誘致3社となった。今後、事業者による造成や建築が始まるが、市としては立地の規制、建設にかかる補助金など様々な案件がありサポートしていく。操業するまでが企業誘致と考えている。

菱野団地再生計画推進について

- Q** 取り組みとしてはソフトとハードがあり、ソフトの部分はボランティア活動の延長でも可能だが、センタービルや駐車場の課題などハードの部分は地元の「みんなの会」では不可能と思うが、行政としてはどう対応していくのか。
- A** 今回の再生計画ではソフト、ハードの両面から計画されている。現在愛知県の所有となっている松坂屋ストア跡地や駐車場についても「みんなの会」も含めて協議し、県に働きかけていきたい。

なの会」も含めて協議し、県に働きかけていきたい。

公共交通の維持について

- Q** 市民と議会との意見交換会「せとまちトーク」でも、公共交通全体のあり方を再検討してほしいなどの意見がたくさんのお会場で出された。地域公共交通網形成計画により、陶生病院ハブ化、運行路線・ダイヤ見直しがされたが、その効果をどう評価しているか。また課題をどうとらえているか。
- A** 効果については今年一年かけて検証していく。課題はコミュニティバスの収支率、利用者数を上げていくことと考えている。



ハブ化した陶生病院バスロータリー

◀ 9月定例会の主な議案概要と審査内容 ▶

常任委員会とは

所管ごとに議案等をくわしく審査するために設置された委員会です。本市には、総務生活委員会、厚生文教委員会、都市活力委員会及び予算決算委員会の4つの常任委員会があります。

Q : 市議の質問 **A** : 市の回答

総務生活委員会

第70号議案 瀬戸市職員の給与に関する条例の一部改正について

概要 職員が新型コロナウイルス感染症により生じた事態に対処するための作業に従事した場合に、感染のリスクを考慮し、感染症防疫手当に関する特例を定めるもの

Q 具体的にはどのような対応か。

A 職員が新型コロナウイルス感染者又は、感染の疑いのある者に接して行う問診や検温作業に従事した場合のほか、感染者等が使用した物品等の消毒作業など、感染のリスクが高く職員の勤務が著しく不健康で特殊な場合

について支給の対象とする。

第71号議案 瀬戸市市税条例の一部改正について

概要 コロナ禍の下、各種のイベントが中止となった場合払い戻しがされるが、それを放棄した場合はその相当額を寄附金とみなし、寄附金税額控除の対象とするもの

Q 税の申告の際、何が必要となるか。

A 税額控除等希望者がイベント主催者から受け取る「指定行事証明書」と「払い戻し請求権放棄証明書」を提出することになる。

厚生文教委員会

第72号議案 瀬戸市老人憩いの家の設置及び管理に関する条例の廃止について

概要 施設及び設備の老朽化が進んでおり、令和3年3月31日をもって老人憩いの家を廃止するもの

Q 「やすらぎ会館」までの移動手段は。また、公民館等を代替施設として検討しているとのことだが、同等のサービスが確保できるのか。



須原町(陶祖公園内)にある老人憩いの家

A 「やすらぎ会館」へは、当館の巡回バスを利用して頂くよう考えている。公民館等は高齢者

の方の集いの場として活用頂き、今までのサービスはやすらぎ会館を利用して頂きたい。

第73号議案 瀬戸市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

概要 小規模保育事業所等の保育士配置の基準を緩和するもの

Q 「保育士と同等の知識と経験を有すると市長が認める者」とは、どのような基準か。

A 愛知県などが実施する子育て支援員研修を受講した者。

都市活力委員会

第77号議案 幡中南菱野線外1路線道路改良工事請負契約の変更について

概要 道路築造のため掘削したところ、一部埋戻しに適さない土であったことから、残土処分場へ搬入処分する費用が新たに必要となったため、契約金額を変更するもの

Q 今後も、埋め戻しに適さない土が出る可能性はあるのか。

A 今後、工事を進める中で、土質の状況によっては、数量変更の可能性もある。

第79号議案 市道路線の認定について

概要 進陶町の宅地開発に伴い、4つの市道路線を認定するもの

Q 自動車の混雑が予想されるかどうか。



進陶町地内

A 陣屋線が開通した場合、通過交通が生活道路へ流入する懸念と、周辺地域への支障を考慮した結果、地域の交通安全を最優先し、当面は通行止めにして運用していきたいと考えている。

予算決算委員会

第82号議案 瀬戸市一般会計補正予算 (第8号)

概要 新型コロナウイルス感染者及び濃厚接触者で自宅待機となった方の買い物代行を行うもの

Q 実施にあたり、保健所からもう少し詳細な情報をもらったらどうか。

A 保健所においてこの事業の内容を伝えてもらい、利用者の同意を得た上で適切に運営していく。

第83号議案 瀬戸市一般会計補正予算 (第9号)

概要 7月の豪雨による土砂災害で、愛知環状鉄道の永覚～末野原駅間で線路脇法面が崩落したため、愛知県と沿線4市で復旧工事費の一部を補助するもの

Q 愛知環状鉄道への災害復旧費の負担と新型コロナウイルスによる経営への影響について伺う。

A 新型コロナウイルス感染症の影響で、輸送収入が前年度と比較し、大幅に減少することが見込まれている。その中で、豪雨による崩落が起こり、復旧工事費の一部を支援するものである。

概要 中水野土地区画整理事業費について

Q 年度途中で測量委託を行う理由は何か。

A 昨年度末に、仮同意書が85%取得できた。境界確定については、事業推進を一日でも早く行い、令和4年度の事業認可を目指すため。

第92号議案 瀬戸市一般会計補正予算 (第11号)

概要 妊婦、生後6か月～中学校3年生までの子ども、身体障害者手帳1級をお持ちの方を対象に、インフルエンザ予防接種の費用を一部助成するもの

Q 例年、インフルエンザの流行期途中でワクチンの不足が伝えられることがあるが、今回この事業を実施するにあたり、ワクチンの確保はできているか。

A 国の動向を注視し情報を的確に把握した上で、各機関と連携を図り、適切に対応していきたい。



9月定例会において請願第1号「新型コロナウイルス感染症から障害者を守るための請願」の提出がありました。

詳細は瀬戸市ホームページから議会録画映像等でご覧になれます。



請願とは…国又は地方公共団体の機関に対し、文書により希望や要望を申し出るもの。地方議会に請願を提出する場合は、地方自治法の規定により、議員の紹介により提出しなければならないとされています。

提出～審査～採決～結果通知までの流れ



9月定例会議案等審議結果

議案番号	件 名	採決結果
2年市長提出 第68号議案	地方税法の改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	可決(全会一致)
第69号議案	瀬戸市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正について	可決(賛成多数)
第70号議案	瀬戸市職員の給与に関する条例の一部改正について	可決(全会一致)
第71号議案	瀬戸市市税条例の一部改正について	可決(全会一致)
第72号議案	瀬戸市老人憩いの家の設置及び管理に関する条例の廃止について	可決(賛成多数)
第73号議案	瀬戸市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決(賛成多数)
第74号議案	瀬戸市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決(全会一致)
第75号議案	東山小学校大規模改修(建築)工事請負契約の変更について	可決(全会一致)
第76号議案	瀬戸市ホテル等の建築の規制に関する条例の一部改正について	可決(全会一致)
第77号議案	幡中南菱野線外1路線道路改良工事請負契約の変更について	可決(全会一致)
第78号議案	瀬戸市道路占用料条例の一部改正について	可決(全会一致)
第79号議案	市道路線の認定について	可決(全会一致)
第80号議案	市道路線の変更について	可決(全会一致)
第81号議案	瀬戸都市計画下水道事業受益者負担金条例の一部改正について	可決(全会一致)
第82号議案	令和2年度瀬戸市一般会計補正予算(第8号)	可決(全会一致)
第83号議案	令和2年度瀬戸市一般会計補正予算(第9号)	可決(全会一致)
第84号議案	令和2年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
第85号議案	令和2年度瀬戸市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
第86号議案	令和2年度瀬戸市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
第87号議案	令和2年度瀬戸市水道事業会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
第88号議案	瀬戸市遺児修学手当支給条例の一部改正について	可決(全会一致)
第89号議案	倒木による物損事故に係る損害賠償の額の決定及び和解について	可決(全会一致)
第90号議案	令和2年度瀬戸市一般会計補正予算(第10号)	可決(全会一致)
第91号議案	令和2年度瀬戸市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決(全会一致)
第92号議案	令和2年度瀬戸市一般会計補正予算(第11号)	可決(全会一致)
認定第1号	令和元年度瀬戸市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
認定第2号	令和元年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
認定第3号	令和元年度瀬戸市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
認定第4号	令和元年度瀬戸市春雨墓苑事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
認定第5号	令和元年度瀬戸市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
認定第6号	令和元年度瀬戸市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
認定第7号	令和元年度瀬戸市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	認定(賛成多数)
同意第14号	瀬戸市教育委員会委員の任命について(小澤慎太郎氏)	同意(全会一致)
同意第15号	瀬戸市教育委員会委員の任命について(竹川典子氏)	同意(全会一致)
請願第1号	新型コロナウイルス感染症から障害者を守るための請願	不採択(賛成少数)
2年議員提出 第2号議案	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出について	可決(全会一致)

各議員の議案に対する賛否の状況

左記議案のうち賛否の分かれたもののみ記載

議員名 議案番号	自民新政クラブ											公明党 瀬戸市議団	日本共産党 瀬戸市議団	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派	無会派				
	朝井賢次	高島淳	西本潤	小澤勝	水野良一	宮園伸仁	富田宗一	柴田利勝	戸田由久	山田治義	三木雪実	長江公夫	三宅聡	池田信子	長江秀幸	新井亜由美	浅井寿美	原田学	松原大介	馬嶋みゆき	石神栄治	中川昌也	高桑茂樹	白井淳	藤井篤保	伊藤賢二
第69号議案	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第72号議案	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
第73号議案	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○
認定第2号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第7号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○

【○】は賛成(同意) 【×】は反対(不同意) 議員名は左より会派ごとの議席順に記載。

なお、富田宗一議員は議長職のため採決には加わりません。

新型コロナウイルス感染症対策にかかる補正予算を臨時会で可決!

第2回臨時会(5月25日開催) 議案等審議結果

議案番号	件名	採決結果
第45号議案	令和2年度瀬戸市一般会計補正予算(第4号)	可決(全会一致)

補正予算の主な内容

●飲食店事業者支援給付金

営業時間短縮の協力要請の対象とならなかった事業者に対して、1事業者あたり10万円を支給するもの。

●飲食店活動再開応援

市内飲食店事業者が感染拡大防止に努められるよう消毒用アルコールを配布するもの。

第3回臨時会(7月30日開催) 議案等審議結果

議案番号	件名	採決結果
第66号議案	訴えの提起について	可決(全会一致)
第67号議案	令和2年度瀬戸市一般会計補正予算(第7号)	可決(全会一致)

補正予算の主な内容

●議会活動

財政出動を伴う本市独自の対策が必要になることを考慮し、議会活動の自粛により事業費を減額するもの。

●予防接種

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行抑制等のため、今年度に限り高齢者等のインフルエンザ予防接種の自己負担を無料とするもの。

●防災資機材購入

避難所での新型コロナウイルス感染症予防のため、パーテーション等の物品を購入するもの。

一 般 質 問

市の行政課題などについて11人の議員が考え方や内容を質問しました。質問を行った順に、一人ずつ紹介します。

Q 市議の質問

A 市の回答



自民新政クラブ
高島 淳

「陶の路」を活用した新型コロナウイルス収束後の観光について

Q 本市には平成11年から約6億円かけて整備されてきた4つの散策ルートとしての「陶の路」がある。新型コロナウイルスの収束後、多くの観光客が見込まれるので、再整備して観光用の散策ルートとして活用するべきではないか。

A 「陶の路」を活用した散策ルートについては地域の生活道路としての機能に加え、景観整備を施すことで、歴史的・文化的価値の高い拠点施設をつなぐ道路として活用されている。今後は観光協会のホームページで紹介するとともに、それぞれの路線の補修については景観に配慮した工法による修繕をしていく。（まるっとミュージアム課・建設課・維持管理課）



日本共産党
瀬戸市議団
原田 学

9億円を超える基金は介護保険料の引き下げに活用すべき

Q 現在、瀬戸市の介護保険事業では、約9億1千万円もの基金が貯まっている。この基金の目的は本来、保険料の引き下げのための市民の基金である。現在の介護保険なら第1号被保険者に活用すれば一人約2万5千円の介護保険料の引き下げになる。次の第8期介護保険事業計画には、この基金を活用して高い介護保険料を引き下げるべきと考える。

A 介護保険は今後も長く制度を維持、継続させなければならない。介護保険準備基金の取り崩しについても将来の見通しも考え、介護サービスの適切な量も予測しながら、慎重に判断していく。（高齢者福祉課）



公明党
瀬戸市議団
三宅 聡

ひとり親家庭の不払い養育費問題について

Q このコロナ禍において困窮するひとり親家庭に対し、ひとり親家庭応援金並びに臨時特別給付金が支給されたが、まずは困窮の主な原因と思われる不払い養育費問題の解消が先決と考える。市としてこの問題を抱えるひとり親家庭に対してどのような支援を行っているのか伺う。

A こども未来課こども福祉係では母子・父子自立支援員を配置して就業支援や経済支援に加えて、養育費に関することも含む様々な相談を受け、専門家に繋ぐなどの生活支援を行っている。各種支援の内容をまとめた案内も送付している。（こども未来課）



公明党
瀬戸市議団
長江 秀幸

コロナ禍における分散避難について

Q 災害時に避難生活が必要な方に対しては、可能な場合は親戚や知人の家等への避難を検討すべきと考える。その上で、分散避難によって災害物資の届け先が増えるため、どう対応するのか見解を伺う。

A 本市では、広報や市ホームページ等を通じて、指定避難所のほかコロナ禍における在宅避難や分散避難について、市民に周知したところである。なお、物資については、市が指定する避難所にて必要な物資を把握し、配布していく。配送は、市災害対策本部が中心となりトラック協会等との協定を活用し、運用できるよう進める。（危機管理課）



無会派
松原 大介

5箇所の小学校跡地の将来活用の決め方について

Q 小学校跡地活用において、全市的な視点や、特に5連区のなかで、どこをどのように位置付け、どのような機能が必要かは、大切な観点である。それらは、各々の連区だけで話していただくだけでなく、1つの学区となった今、5つの連区がそれぞれの事情を定期的に共有し、相互理解をしながら合意形成を作っていくプロセスは、これから1つの学区としてまとまっていくためにも有効なプロセスと考えるが、見解を伺う。

A 5連区間の情報共有は必要だが、今後の活用方針については、各地域の特性を活かしたまちづくりを、地域の皆様と進めていく。
(政策推進課)



自民新政クラブ
朝井 賢次

新型コロナ感染症禍における今後の事業計画と予算編成について

Q 新型コロナ感染症禍における市民生活及び財政収支見通しと新財政規律ガイドラインを鑑みると、今後都市像実現に向けての施策の見直しは必要であり、特に財政に対する意識改革は必須である。そのためには、まず市長が決断と責任を負い具体的指示の下、事業計画立案と予算編成を断行していかなくてはと考えるが見解を伺う。

A この状況下で持続可能な財政運営を着実に進めていくためには、全職員が危機意識を持ち、事業の見直しや再構築を図る必要がある。市長の指示の下、地域ニーズを的確に捉えた中期事業計画策定と予算編成に取り組んでいく。
(政策推進課)



日本共産党
瀬戸市議団
浅井 寿美

廃プラスチックの分別で気候危機とごみの増加を回避しよう

Q 近年の地球温暖化は大規模な自然災害を引き起こしている。プラスチック製容器包装を分別していない瀬戸市は、晴丘センターで焼却される廃プラスチックから発生するCO₂の量に責任を負っている。同時に、尾張旭市や長久手市に比べ、家庭ごみ発生量が約2割多い瀬戸市は、家庭ごみの9.7%を占めるプラスチック製容器包装を分別収集すべきではないか。

A 容器包装プラスチックの分別回収についてはリサイクル工程全体で発生するCO₂を検証し判断したい。ごみ減量のためにはまずミックスペーパーの分別と食品ロスの削減に優先的に取り組む。
(環境課)



無会派
白井 淳

せと赤津工業団地造成事業の住民訴訟がなぜ起きたのか

Q 平成28年3月、せと赤津工業団地造成事業について、住民監査請求及び住民訴訟が起こされているが、どこに原因があったとするのか伺う。また、企業誘致プロジェクトチーム廃止後、速やかに事業費約1億7840万円の精算措置をなぜしなかったのか伺う。

A 本件造成事業の測量費用等として、金融機関から借入れた資金の精算措置のため支出した時期が適正であったかが問われている。事業費の精算については、土地開発公社からの買戻しをおおむね5年をめぐりに行っていることと、本件造成事業の進捗及び本市の財政計画等を勘案して行ったものである。
(産業政策課)



日本共産党
瀬戸市議団
新井 亜由美

障害者控除認定書は申請しなくても、従来通り対象者に送付すべき

Q 障害者控除認定された要介護者本人や配偶者、扶養親族は、所得税や住民税の障害者控除が受けられる。税金の控除により介護保険料が下がることもある。瀬戸市では、2013年度から申請しなくても対象者へ障害者控除認定書が一斉送付され、制度利用が拡充されてきた。ところが今年度から事務の効率化を理由に、申請者のみへの送付に変更するとした。申請漏れなど市民に不利益が生じる可能性もあり、従来通り一斉送付すべきではないか。

A 事務の効率化で高齢者施策の充実を図るとともに、制度の周知を行い、従来通りの一斉送付は行わない。
(高齢者福祉課)



公明党
瀬戸市議団
池田 信子

情報弱者へのデジタルシフト等へのサポートについて

Q 新しい生活様式に沿った「新しい繋がり」「新しいコミュニティ」の創出に向けて、高齢者・障害者・外国人等の情報弱者のデジタルシフト等へのサポートの取り組み状況と課題及び今後の見通しについて伺う。

A 現在、高齢者等を対象としたスマホ講座等を実施し、サポートしている。今後、デジタルシフト等が進むことで情報弱者の増加が予想されるため、今年度策定中の「ICT戦略推進プラン」の中で重点課題の一つとして位置付け、高齢者、障害者、外国人等の誰もがICTによる利便性を享受できる環境整備のあり方を検討していく。
(情報政策課)



無会派
馬嶋 みゆき

虐待対応に関わる体制整備について

Q 「瀬戸市子ども総合計画」には、家庭児童相談室の虐待対応能力強化のため、令和3年度までに「子ども家庭総合支援拠点を設置する」とあるが、この拠点整備の特徴を伺う。

A 児童虐待に対応する「子ども家庭総合支援拠点」を単体で設置するのではなく、子育てに関する相談に対応する「子ども・子育て総合相談窓口」と年齢に切れ目なく対応できる「子ども・若者総合相談センター」を加えた、3つの機能を一体化することで、年齢による切れ目のない継続的支援を行うことが可能となることが特徴である。
(こども未来課)

議員提出第2号議案

～ 国へ意見書を提出 ～

主な要旨

新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延は続き、国内でも「緊急事態宣言」解除後、再び感染者数が急増する傾向にあるなど、依然として先行きが見通せない状況にあります。社会経済活動は段階的に回復されつつあるものの、本年は大幅なGDPの落込みが確実視されるなど、わが国経済への影響は甚大であります。

これに伴い、本年度及び来年度の地方財政も地方税・地方交付税の減収などにより巨額の財源不足を生じ、これまでにない厳しい事態に陥ることが予想されることから、地方税財源の確保を求めるために、国会・政府へ「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書」を提出することを全会一致で可決しました。

何があったの？ 瀬戸市議会

議会が変わっていきます

今年6月に、早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革度調査部会が公表した「議会改革度調査ランキング2019」において、瀬戸市議会が回答のあった全国1,433の自治体議会中、17位となりました。



タブレット端末を使用する各議員

過去5年間のランキング推移

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
総合順位	圏外(300位以下)	234位	131位	41位	17位
回答議会	1,460	1,347	1,318	1,447	1,433

出典: 早稲田大学マニフェスト研究所 議会改革調査部会

このランキングは2010年度から毎年実施されており、全国の議会改革の流れとその動向について、①情報共有②住民参画③議会機能強化の三つの視点から評価したものです。過去5年間の推移を表にしてみました。年を追うごとにその評価は上がっています。

議会改革の一つとして2017年4月に「議会基本条例」を制定しましたが、策定過程から情報共有、住民参加を意識した議会活動を行ってきたことが評価されてきたも

のと考えています。2019年度さらに順位を上げた要因は、市民の皆さんとの意見交換会(せとまちトーク)を起点とし課題解決に結びつける政策サイクルの形成に取り組んでいることや、議会基本条例の評価・検証など議会機能強化のための条件整備を進めてきたことなどが高く評価されたものと考えています。

これからも議会改革の歩みを止めることなく、市民の皆さんにより開かれ、信頼される議会を目指してまいります。

いいもんせともん議会 開催!



9月定例会初日に、「いいもんせともん議会」と称し、本会議出席者が瀬戸市のロゴ入りマスクを着用し、市のPRと新型コロナウイルス感染症の予防を呼びかけました。



一人一人が新しい生活様式を実践し、スタンダードとなることで、ご自身やご家族、周りの方への感染を防ぎ、地域を守っていきましょう。

せとまちトーク中止のお知らせ

「せとまちトーク」(市民と議会との意見交換会)は次回11月の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の先行きが見通せない中、参加される市民の皆様の健康・安全面を考慮し、中止といたしました。今後、新しい生活様式に基づいての「せとまちトーク」開催方法については、現在検討中です。どうぞご了承いただきますようお願い申し上げます。

12月定例会開催予定

- 11月30日(月) 本会議(開会・議案上程・説明)
12月 3日(木) 本会議(一般質問)
12月 4日(金) 本会議(一般質問)
12月 7日(月) 本会議(一般質問・議案質疑・委員会付託)
終了後 予算決算委員会
12月 9日(水) 総務生活委員会
終了後
予算決算委員会 総務生活分科会
12月10日(木) 厚生文教委員会
終了後
予算決算委員会 厚生文教分科会
12月11日(金) 都市活力委員会
終了後
予算決算委員会 都市活力分科会
12月15日(火) 予算決算委員会
終了後 議会運営委員会
12月17日(木) 議会運営委員会
12月18日(金) 本会議(委員長報告・討論・議案採決・閉会)

※いずれも、午前10時からの開催予定ですが、日程が、変更される場合がありますのでご確認ください。
※会議の様子は、瀬戸市議会のホームページからインターネット中継でご覧いただくことができます。
※請願・陳情の提出締切日は、11月16日(月)の午後5時です。

瀬戸市議会の情報番組のお知らせ

瀬戸市議会では、以下の番組において議会情報をお知らせしております。



グリーンシティケーブルテレビ

「こんにちは!瀬戸市議会です。」(地上デジタル121ch)

12月定例会放送予定

1月18日(月)から1月24日(日)まで

放送時間

(7:25～、9:25～、12:15～、18:25～、20:25～、
22:25～ 土・日のみ7:25→14:25となります。)

※詳しくはグリーンシティケーブルテレビから配布される番組表をご覧ください。



RADIO SANQ

「せとまちラジオ」(FM 84.5MHz)

12月定例会放送予定

11月24日(火)

12月22日(火)

放送時間

(9:20～、12:30～、
18:00～)



編集 後記

瀬戸市の「来し方、行く末」を議論

9月定例会は昨年度の市政の方向性を問う、重要な「決算議会」です。紙面の都合上、各分科会における主な議論の一部しか記載できませんでしたが、少しでも市民の皆様が市政について考えていただく一助になる事を願っています。

この「せと市議会だより」が届く頃には、コロナ禍が終息していることを願っております。市民のみならず、お身体ご自愛を。

議会だより編集作業部会一同



議会だよりに関するご意見などについては、下記の問い合わせ先までお寄せください。

問い合わせ先 議会事務局 議事課 ☎88・2740 E-mail giji@city.seto.lg.jp